PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top

# かわら版 第34号

'98、9、1 発刊

## 拝啓 September

今年の夏は夏じゃない！
夏好きの僕にとっては
なんだか損をした気分だ。
このまま秋になるなんて寂しすぎ
る～ ちょ～ High Lonsome（色んな意味で）

## バーテンダー福本（もとロッキースタッフ）のカクテルのお話

→彼の働いてるお店 池袋 三間堂（3590.3572）

### スクリュードライバー

→スクリュードライバーとはいわゆるねじ回しのことです。イランの油田で働くアメリカ人がウォッカとオレンジジュースをまぜるのに作業用のドライバーを使用したことからつけられた名前と言われてます。口当たりはやさしいがウォッカを使うため、比較的強いカクテルです。昔はレディーキラーと言われてました。ウォッカをジンにかえると、オレンジブロッサム、またガリアーノ（草花と薬草とバニラの香りのリキュール）を落とすと、ハーベイ・ウォール・バンガーというカクテルになります。このカクテルはカリホルニアのサーファー、ハーベイが敗戦の失意をまぎらわすために飲んだと言われ、酒に酔って壁をたたきながら帰る彼のことを人々が「壁たたきのハーベイ」と呼んだことが名前の由来と言われています。

### テネシークーラー

→ロッキートップのオリジナルカクテル「ロッキーウィンド」の基となったカクテル。色といい、味わいといい、テネシー川の涼しさを連想させるような清涼感あふれる味わいです。はじめに氷の入ったグラスにシェイクした材料を注ぎ、ジンジャビアで満たし、レモンを飾ります。

レシピ～ ジャックダニエル 45ml フレームド・ミント（グリーン）20ml、レモンジュース 20ml、砂糖 1tsp、ジンジャビア full up

## おめでた！フィドラー山崎規夫に長男生まれる！

8/9 PM9:00頃 ブルーグラス界の環境ホルモンとして名高い山崎氏に昨年の長女弓香ちゃんに続いて長男が誕生した。名前は泰大（たいた）。ブルーグラッサーの子供らしい名前だ。母の多恵子さん、御苦労様でした。熊が生まれてこなくて本当に良かったですね。

## マスターたまには一筆を…

想い出の曲ということでマスターに頼んでみたのですが「女性がからむからなー」というギリギリの路線で少年の日に戻って書いていただきました。

### 想い出の曲

ロッキートップも来年で20年を迎えようとしています。私もその度に年を取るということを忘れていました。ロッキーで演奏している曲でも最近いやに昔のことを想い出して仕方がない。

若かりし頃は、オールディーズが全盛期で、"恋の片道切符"や"悲しき雨音"を口ずさんでは白バイと同じメグロにまたがっては夜の街をさっそうと走ったものだった。特に中学の頃、歌ったり踊ったりした曲でフォスターの"故郷の人々""オー、スザンナ"は想い出深い曲です。音楽の試験で"故郷の人々"を合奏する試験があった若い女性の先生でピアノを弾く指がものすごくきれいで、急に先生に魅力を感じたものです。ただ茫然と指を見ているだけで緊張してしまい"小林君！"という声で我に返ったときは、曲の半分をすぎていた。"小林君歌えないの"と言われても ただ私はもじもじしているだけだった。これがたたって1学期の音楽の成績は無情にも"2"となっていた。この当時フォークダンスが流行っていて"オー、スザンナ"の曲で輪になって踊ったものだった。踊りの好きな同級生の女の子がいて、その子が近づいてくるにしたがって、ドキドキ、顔も真っ赤になり手が触れるとピ、ピ、ピッ。とおりすぎると青くなって近くになると又真っ赤。そしてピ、ピ、ピッ！このおかげで、それからは女性と話しをするたびに顔が真っかになるいわゆる赤面症は続いた。

これらの曲の演奏が始まると私は遠い遠い昔（!）のほうにばかり想い出にひたり、カウンターの中でにやっと笑っている。…… マスター 小林

## ～ブルーグラスな人達 Meet The Bluegrass～

ブルーグラスとの出会いを通じてブルーグラスを考察するこのコーナー。今回はロッキーの出演者としてもベテランの**内田正昭**さん（47）です。ひょうひょうとした感じで、日本の歌もまじえ、独特な歌い回しでブルーグラスを歌うマチャーキさんの謎にせまってみた。

**歌謡曲でいいじゃない!?**

→テレビをつけると**三橋美智也、村田英雄**なんかが歌っていた少年時代、歌謡曲をきいて育った。中学に入るとよりディープな世界を求めてラジオをきくようになる。一年間の青森での生活の後東京に戻ってくる。そして戻ったその日の晩ラジオから流れてきたのが**ビートルズの「プリーズ プリーズ ミー」**内田さんは心踊る衝撃を受けた。しかし4人組といっても**ダークダックス**のような姿しか浮かばず楽器を弾きながら歌っているというのがピンとこなかった。当時日本は**東京オリンピック**のあおりを受けて、テレビ全盛でラジオでビートルズをきいてるというのはあまりにアウトサイダーだったが、やがて急速にビートルズが市民権を得始めると、内田さんはきかなくなった。（ひねくれ者だったのだろう）ビートルズがやりたくて初めて買ったのは、**グヤトーンのエレキとアンプ**だった。しかし歌とギターを同時にやることができず困ったな～ そうだ！まずはギターだけ弾こう！そして**ベンチャーズを始めた。**コードは全てハイポジションで覚えた。ブルーグラスをやるまでローコードというのを知らなかった。高校に入ると音楽をやめた（!）あまりのめりこむタイプじゃなかったらしい。ただ**モダンジャズ**をきくのにはまり、浪人中は**ジャズ喫茶**で1日10時間いりびたったりしていた。（親がかわいそうだ）しかし何とかめでたく中央大学に入学。サークル勧誘の時期ばったり出くわした高校の同級生が「俺フォークソングのサークルに入るから おまえもどうだ？」そして何となくついていって、そのまま入部した。そのサークルはブルーグラスも盛んで、高校の頃ちらっときいたのを思い出し、バンジョーでもやるかなーというノリで、**バンジョー弾きとしてスタート**した。そしてブルーグラス以外にもニッティーグリッティーのようなカントリーロック ブルースなどもやることになる。時にはギター、時にはボーカルで。ブルーグラスとの出会いで特にこれ！といったものはないがあえていうなら**ドンキーカルテットの宮手武蔵**ということだ（?）その後社会人になり、グラスフリークを見に行ってゲストで歌っているうちにグラスフリークがバックバンド化した状態で、内田正昭とメニーアザーズが出来ていったということらしい。選曲の基準は「好きな歌を歌う」イージーリスニングブルーグラスがあってもいいんじゃないかなーと変にこだわらず自然体の内田さんでした。

→ 10/7（水）に出演します。（いとしのエリー、悲しきDJを含め、カントリージェントルメン、スタンダードまで色々と）

## 新人スタッフ紹介!?

**本村隆浩**（もとむら たかひろ）くん（24）

地黒の上に焼けていて今や（?）ウイ（?）島出身の青年のようです。かなりの体育会系で「すいません」を連発するが本当に重要なミスの時はあまりのショックにあやまらないという欠点があります。よく分からないPR文ですが、そんな彼をよろしく！

火曜日にロッキートップで働かせてもらっている本村と言います。生まれは九州の火の国熊本です。あるお得意さん（細野さんと思われる）からは「火の国の男」と呼ばれ、なれ親しまれています。昼間は普通のサラリーマンをやっています。（測量関係）給料が安く何かバイトでもしようかと迷っていたところ、たまたまこのロッキートップを見つけ、電話をかけ雇ってもらいました。マスターには「まだまだ君もこれからだな！」と背中を押してもらい、また素晴らしいスタッフのみんなに囲まれて楽しく仕事をしています。僕は小心者で、はずかしがり屋で、しかもさびしがり屋で、そしてうさぎが嫌いな男です。こんな僕ですが、どうぞよろしくお願いします。すいませんでした。